

## 文化芸術アンケート等各種調査の結果概要（速報）

### （１）実施した各調査の概要

#### ① 文化芸術の振興に関するアンケート調査

- ・調査対象：ア 無作為抽出した18歳以上の県民3,000人  
イ 県内文化芸術関連団体60団体
- ・調査方法：アンケート調査票による書面調査（アはネット回答可）
- ・調査期間：令和元年9月10日～10月15日
- ・回収率：ア 35.1%（1,052人） イ 68.3%（41団体）

#### ② インターネットアンケート調査

- ・調査対象：「県民参加メールマガジン」登録のアンケート調査協力員  
1,457名（県内に居住する満18歳以上の県民）
- ・調査方法：インターネットアンケートフォームによるネット調査
- ・調査期間：令和元年8月30日～9月12日
- ・回収率：10.9%（159人）

#### ③ 県内高等学校書面アンケート調査（5校）

- ・調査対象：県内各地域において文化的な活動に力を入れている5校の高等学校の3年生  
（千葉県立松戸高等学校、千葉県立佐原高等学校、千葉県立成東高等学校、  
千葉県立大原高等学校、千葉県立木更津高等学校）（千葉県高等学校文化連盟  
の協力を得て選定、実施）  
（回答数1,212人）
- ・調査方法：アンケート調査票による書面調査
- ・調査期間：令和元年9月11日～9月30日

#### ④ 県内高等学校ヒアリング調査（1校）

- ・調査対象：授業において社会との関わりについて実践的な活動をしている県内高等学校の  
3年生（千葉市立稲毛高等学校）
- ・調査方法：普通科1クラス、国際教養科1クラスにおいて、政治経済の授業の一環として  
ヒアリングを実施。
- ・調査期間：令和元年10月4日

#### ⑤ 県内商工・観光団体アンケート調査（112団体）

- ・調査対象：県内の商工会、商工会議所、観光協会
- ・調査方法：アンケート調査票による書面調査
- ・調査期間：令和元年9月27日～10月15日
- ・回収率：50.0%（56団体）

#### ⑥ 千葉・県民音楽祭出演者アンケート調査（136名）

- ・調査対象：楽器演奏者、障害者団体、合唱団体
- ・調査方法：アンケート調査票による書面調査
- ・調査期間：令和元年8月25日

## (2) 集計結果

## 《全般》

- ・調査全般において、子ども・若者の文化芸術にふれる機会の充実のニーズがうかがえる。
- ・調査全般において、文化芸術に関わるきっかけとして、もともと好きだったケースが最も多いが、家族や学校、メディアの影響で関わることになるものも多い。

## 18歳以上の県民

- ・文化芸術を鑑賞（体験）しなかったと回答した方は約13%であった。
- ・約半数が文化芸術活動を行うことに興味があるが、その約半数が継続的に活動をしておらず、その理由として「仕事・育児・介護等で忙しく時間がない」が最も多く、次いで「自分の都合のよい日時に実施されていない」、「活動に関する情報が得られない」だった。
- ・自分の地域に伝統芸能があるかどうか知らないという回答が3割強となった。また地域に伝統芸能があると知っている人のうち、「参加しているが続けたくない」、「参加していないし今後も参加したくない」との回答が合わせて6割強となった。

## 文化芸術団体

- ・平均年齢は70代が最も多い。
- ・約9割が年1回以上の発表会や展示会を行っており、ほぼすべての団体が会員以外の参加を受け付けている。また、9割以上の団体が障害者に参加してもらいたいと思っている。
- ・活動上の課題として、「新規加入者が少ない」を挙げている団体が8割を超え、最も多い。
- ・自らの役割として、また県へ求める役割としても、子どもたちへの文化芸術の普及、教育が最も多く挙げられている。

## 高校生

- ・関わっている文化芸術はないと回答した生徒は約5%であり、ほとんどの生徒が文化芸術に関わりを持っている。なお、文化芸術への関わり方として、鑑賞も実践も『音楽』が最も多い。
- ・社会人になった後でも、約7割が文化芸術と関わりを持つことを希望している。
- ・地域の伝統芸能活動について今後も続けたい、又は新たに参加したいという割合が合わせて約3割である。
- ・ヒアリングでは、『地元愛』を感じると回答した生徒が40%を超える結果となった。また、文化の違いを感じたり、外国の人や文化と触れ合うことをきっかけに自分の文化を認識するといった回答が見受けられた。
- ・文化について情報がない、活動を知られていない、知らないので参加しにくい、活動の機会が少ないと感じるという意見が寄せられた。

## 商工・観光団体

- ・商工・観光団体においても、様々な文化芸術に関連した活動が行われており、文化芸術を支える団体であることが分かった。また、文化芸術団体との連携の方法としては実行委員会での協力や後援、助成等があるが、連携していないところも多い。

## 音楽祭出演者

- ・音楽活動を継続していく上での課題は、活動時間の確保という回答が最も多かった。